

## 発刊によせて

ビジネス創造センター（C B C）  
センター長 李 濟民  
(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻 教授)

国立大学法人小樽商科大学ビジネス創造センターの「平成 25 年度研究活動報告書」を刊行するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ビジネス創造センター（C B C=Center for Business Creation）は、社会科学系国立単科大学として、全国最初に開設（平成 11 年 4 月）された地域共同研究センターです。昨今、大学においてその研究成果を活用した「社会貢献」および「地域連携活動」機能を発揮することが強く求められています。C B Cは、こうした時代の要請を受け止め、本学に脈々と受け継がれている実学の伝統と歴史的遺産を生かし、産学官連携活動と地域経済の活性化に寄与すべく取り組んで来ました。本報告書は、C B Cの平成 25 年度の歩みをご紹介し、新たな社会貢献を目指すマイルストーンとして刊行するものです。

平成 25 年度は、昨年度に引き継ぎ、事業内容の重点を①産業振興プロジェクトの推進、②ビジネスサポートの積極的展開、③開放型研究セミナーなどによる「知の循環構造」の構築に置いて、幅広い活動を展開してまいりました。提携コンサルタント制度が浸透したこともあり、ビジネス相談件数が過去最高の 21 件を記録しました。昨年度から続いている FM おたるで本学教員を紹介する番組、「商大へ行こう！」も好評をいただきました。ジョブカフェ北海道との共催で行った起業を目指す大学生向け「キャリア・サバイバルセミナー」（平成 25 年 11 月及び 12 月で計 3 回）、北海道大学産学連携本部と共同で実施した「イノベーションマネージャー育成講座」（平成 25 年 10 月及び 11 月、計 8 回）、C B Cセミナー「しりべしの広域観光をデザインする！」（平成 26 年 1 月）、C B C国際シンポジウム「食文化を通じた北海道とアジアのビジネス展開」（平成 26 年 3 月）など多様な研究会・セミナー等を主催することで開放型プラットフォームの活性化に取り組んできました。

さらには、北海道経済産業局地域力活用市場獲得支援事業における「北海道『食』ブランド台湾市場参入プロジェクト」、「北海道『ヘルス＆ビューティー』ブランド展開の拠点設置と市場調査プロジェクト」への参加を通じて海外ビジネス進出支援を展開するなど、アジア地域における北海道ブランドの構築に向けた産学官連携活動を推進してきました。

本報告書をご一読いただき、皆様にC B Cの活動をご理解いただくと共に、平成 26 年に大きく組織改編を行ったC B Cに対して一層のご指導、ご鞭撻を賜るようお願いいたします。

平成 26 年 6 月